

【日立グループ、歴史が培った「人×技術」が社会基盤を守る】

俳優・堀田真由と考える、エレベーターの「安心は、スピードだ。」の真相

日立ビルシステムは、1920年代から約100年にわたりエレベーターの開発を行っている。2022年10月には、もしものとき迅速にエレベーターを復旧させる「安心は、スピードだ。」というコンセプトでテレビCM放映をスタート。同CMに出演した俳優・堀田真由さんと、日立ビルシステムの光富真哉社長が、高層ビル・マンションなどに囲まれた都市生活の中で重要な役割を果たすエレベーターの価値を掘り下げた。

〈日立ビルシステム〉

エレベーターは

ビル内の交通機関

運行の維持は災害時の使命

堀田 日本は自然災害が多いと感じています。東日本大震災のとき、私は小学校6年生で関西に住んでいました。授業中に先生がテレビをつけて、映像で大きな揺れや被害を目の当たりにしたんです。子ども心に恐怖を感じたのを覚えています。

管制センター



損傷してエレベーター内に閉じ込められる危険が生じます。自動停止はそうしたことを防ぐための機能です。

堀田 安全確保のために止まる仕組みになっていますね。

光富 ただ、復旧に時間がかかるので、社会活動がストップしかねません。

当社の「ヘリオスドライブ」というサービスは、地震で自動停止したエレベーターの状態を自動診断し、異常がなければ利用可能な状態に仮復旧できます。短時間で運転を再開させることがビルやマンションで生活する人の暮らしを守ることに繋がります。

全国から技術者が

駆けつける体制を構築

「安心は、スピードだ。」に込めた思い

堀田 CMのキャッチコピー「安心は、スピードだ。」には、地震で休



地元を離れて東京で暮らすようになってからは、災害時の避難経路を確かめたり、寝るときにスリッパを近くに置いたりして、身を守ることを考える癖ができました。

光富 日頃から災害時を想定しておくことは大事です。当社はビル内の交通機関ともいえるエレベーターの製造・販売・保全を生業としていますから、災害時でもエレベーターの安全な運行を守ることをつねに考えています。

堀田 普段、当たり前のようにエレベーターに乗っていますが、CMに出演させていただいて、いつも自分がどれほどエレベーターを頼りにしているのかを再認識しました。も

止したエレベーターの早期復旧が重要だというメッセージが込められていると聞いて、すごく印象に残っています。

光富 当社は東京と大阪の管制センターで、全国のエレベーターなどのビル設備の稼働状況をリアルタイムで24時間365日遠隔監視しています。これは、実世界の多様なデータをセンサーで収集し、サイバー空間で大規模なデータ処理を行うサイバーフィジカルシステムの技術があるからこそ実現できるんです。

堀田 デジタル技術を結集させてエレベーターの安全と安心を守っているのですね。

光富 デジタル技術は強みですが、災害時にすぐ駆けつける体制にも自信があります。当社は全国に約300カ所の事業拠点があり、近隣拠点のエンジニアが駆けつけて、すぐに復旧作業に当たられる体制に

し大きな地震が発生したときに、エレベーターが動かなくなったらと考えると不安です。

一度、自宅マンションのエレベーターに乗っていると、

地震ではありませんが止まったことがあって、パニックになりました。

光富 もし都市部で大地震が起こった場合、ほとんどのエレベーターは運転を休止すると予想されます。その際、復旧が遅れると、とくに高齢の方やお体の不自由な方、高層階にお住まいの方にとって大きな負担になります。



しています。

堀田 私の地元は滋賀なのですが、大都市圏以外で広域災害が起きたときも駆けつけてくれますか。

光富 全国どこでも対応します。緊急時にどこにでもスピード感をもって駆けつけられる環境づくりをしていますから。

東日本大震災のときは、全国のエンジニアが復旧のために被災地に向かいました。ただ、広域災害時には、ほかの地域から応援に来たエンジニアに土地勘がないことや、どのエレベーターがまだ復旧していないのかをタイムリーに把握しにくいことが問題になります。そこで、土地勘のないエンジニアが未復旧のエレベーターを地図アプリ上で探せる仕組みを構築しています。余談ですが、災害時の状況は私のスマートフォンにもダイレクトに飛んできます。

堀田 光富さん自ら24時間365



堀田 真由さん

光富 真哉

日体制とは、皆さんの強い責任感に感銘を受けます。

光富 当社は約100年前にエレベーターの研究開発を始めて以来、日立グループの強みであるデジタル技術などの先進的な技術を取り入れ、安全・安心・快適な都市生活を支えるソリューションの提供に尽力してきました。2022年5月には、ビルオーナーや管理者がスマートフォンでエレベーターなどのビル設備の管理を行える「BUILD LINK（ビルリンク）」というサービスのメニューを大幅に強化しています。

堀田 デジタルと人の掛け合わせで「安心は、スピードだ。」を実現していくんですね。私たちの暮らしを守るために、最悪の事態を想定してつねに取り組んでいる方々がいると実感しました。

光富 暮らしの安全と安心を守るプライドは、技術者一人ひとりに根付いています。長いエレベーター事業の歴史の中で培ってきた技術やノウハウを生かし、今後はビルのグリーン化（環境対応）などを支援するスマートビルソリューションの提供で、人々のQOLや社会の持続性向上に貢献したいですね。

お問い合わせ

日立ビルシステム <https://www.hbs.co.jp/>

堀田真由さんが出演中のCMはこちら

